2026年　11月　No 26-33

HCL information

検査内容変更のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を
変更させていただきたくご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

●変更実施日　：2026年　12月　13日（日）　受付分～

●変更項目　：裏面参照

●変更内容　：検査内容変更

●変更理由　：測定機器入れ替えのため

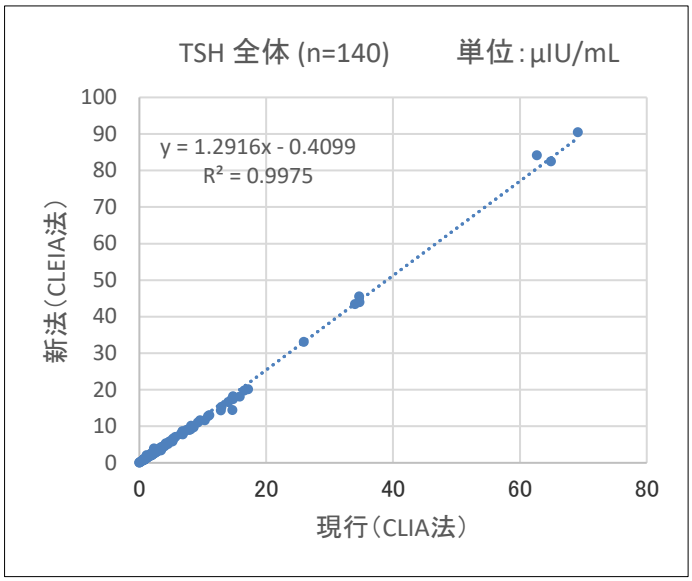
株式会社　兵庫県臨床検査研究所
姫路本社　TEL：079-267-1251　神戸西支所　TEL：078-929-0492　食品衛生管理MEL　TEL：079-267-1253
岡山支所　TEL：086-952-5218　神戸東支所　TEL：078-806-1561　病理検査室HPL　TEL：079-268-1101

【変更項目】

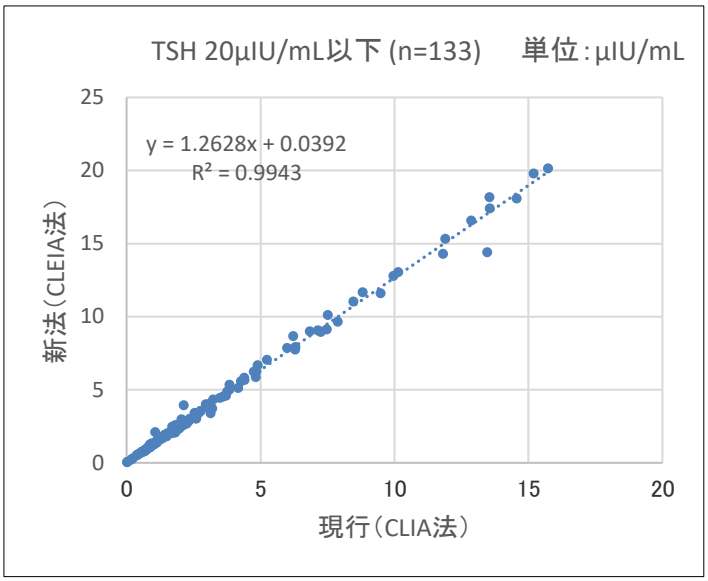
案内書掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	変更後	変更前
P25	0358	甲状腺刺激ホルモン（TSH）	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	0.610～4.230	0.350～4.940
			単位	μIU/mL	μIU/mL
P27	0362	遊離トリヨードサイロニン（FT3）	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	2.52～4.06	1.68～3.67
			単位	pg/mL	pg/mL
	0365	遊離サイロキシン（FT4）	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	0.75～1.45	0.70～1.48
			単位	ng/dL	ng/dL
P79	0901	HBs抗原 定性	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	（－）	（－）
	0902	HBs抗体 定性	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	（－）	（－）
	0906	HBs抗原 定量	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	0.005 未満（－）	0.05 未満（－）
			単位	IU/mL	IU/mL
	0907	HBs抗体 定量	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	10.0 未満（－）	10.0 未満（－）
			単位	mIU/mL	mIU/mL
	0908	HBe抗原	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	1.0 未満（－）	1.00 未満（－）
			単位	C.O.I.	S/CO
	0909	HBe抗体	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	60.0 未満（－）	50.0 未満（－）
			単位	Inhibition %	Inhibition %
	0910	HBc抗体	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	1.0 未満（－）	0.9 以下（－）
			単位	C.O.I.	S/CO
P76	2949	前立腺特異抗原（PSA）	測定方法	CLEIA法	CLIA法
			基準範囲	4.00 以下	4.00 以下
			単位	ng/mL	ng/mL

【相関データ】

● 甲状腺刺激ホルモン（TSH）

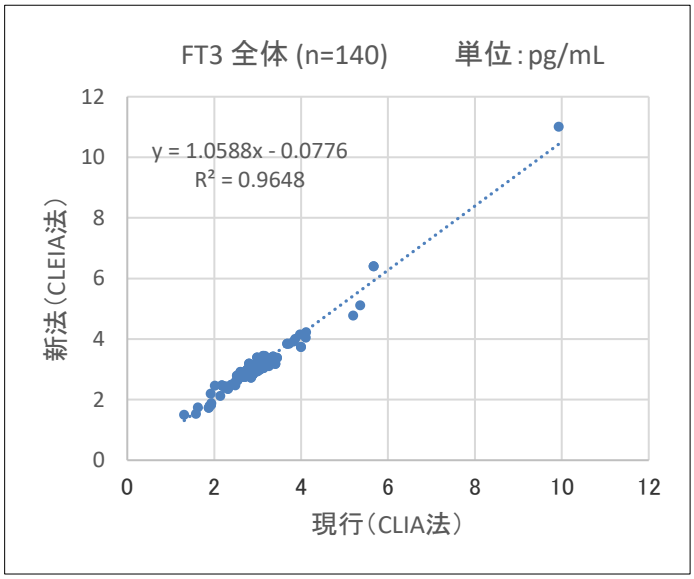


（社内検討データ）

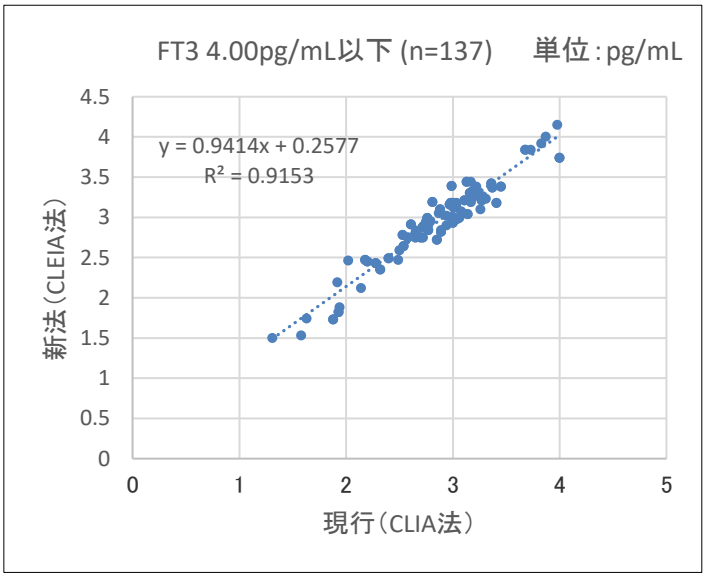


（社内検討データ）

● 遊離トリヨードサイロニン（FT3）

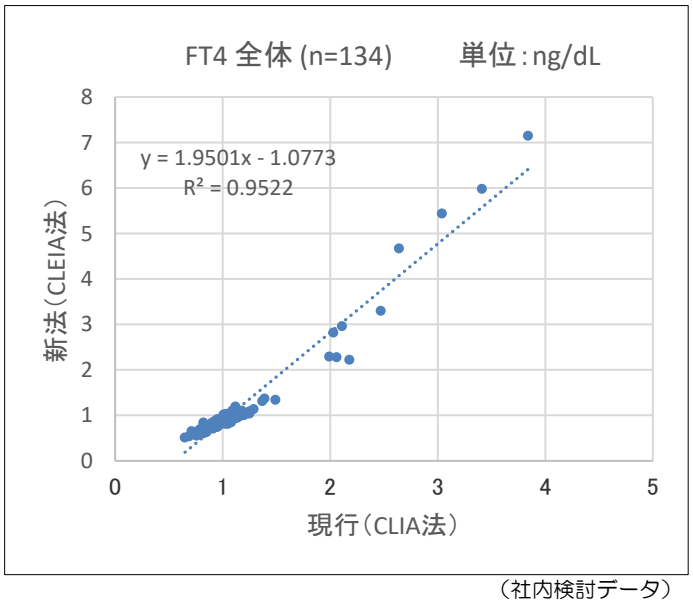


（社内検討データ）

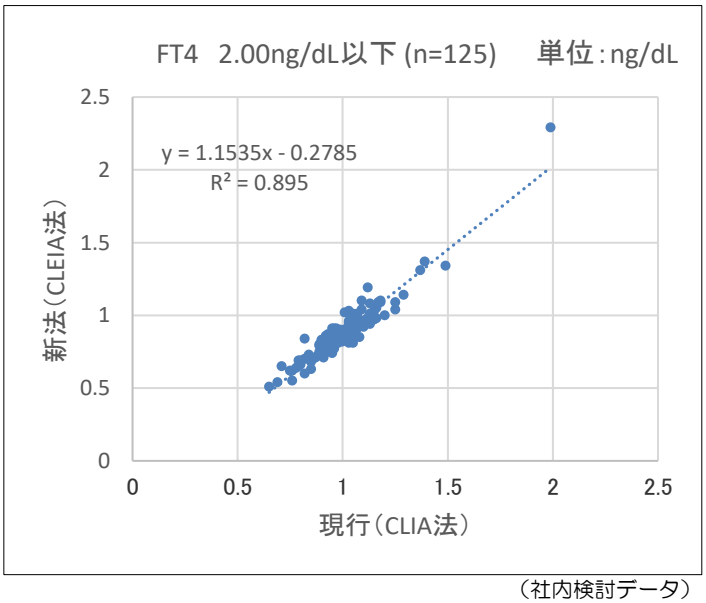


（社内検討データ）

● 遊離サイロキシン（FT4）



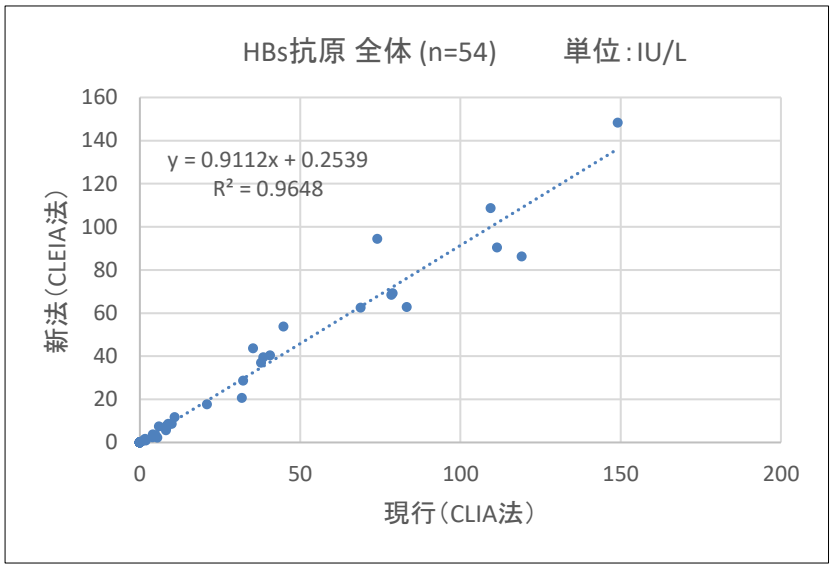
（社内検討データ）



（社内検討データ）

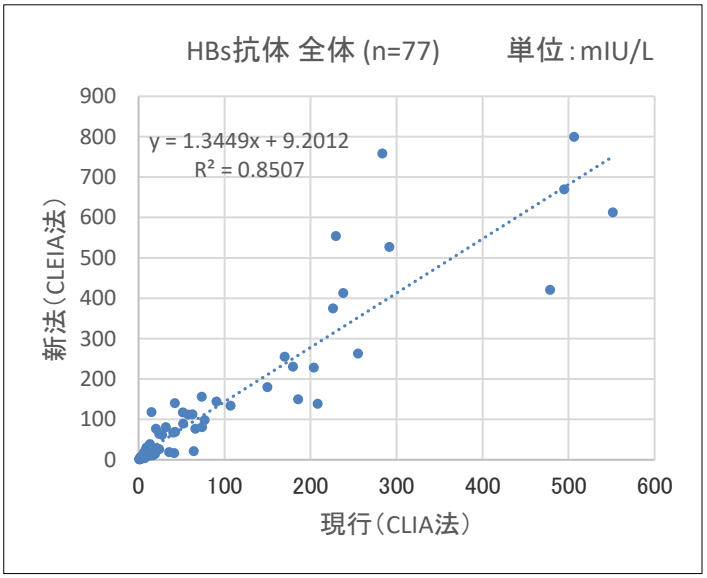
【相関データ】

● HBs抗原 定量



（社内検討データ）

● HBs抗体 定量



（社内検討データ）

判定		現行（CLIA法）		合計
		陽性	陰性	
新法（CLEIA法）	陽性	53	6	59
	陰性	1	28	29
合計		54	34	88

一致率　92%　（社内検討データ）

・相関図では感度以下・以上を省いておりますので、
判定一致率と測定数が異なります。

・HBs抗体測定試薬の変更に伴い、
使用するHBs抗原のサブタイプが変更となります。

※旧試薬：ad＋ay型、新試薬：adr型
adr型は日本人に比較的多くみられるHBs抗原の
サブタイプです。
なお、旧試薬との間では定量値に差が認められる場合が
ございますので試薬変更前後の定量値を直接比較する
際にはご注意ください。

● HBe抗原

＊新旧試薬間の陽性・陰性判定一致率は良好でしたが、定量値には対応関係が認められませんでした。
そのため、試薬変更前後の測定値を直接比較することはできませんので、ご留意ください。

判定		現行（CLIA法）		合計
		陽性	陰性	
新法（CLEIA法）	陽性	47	0	47
	陰性	0	52	52
合計		47	52	99

一致率　100.0%　（メーカー資料引用）

【相関データ】

● HBe抗体

＊新旧試薬間の陽性・陰性判定一致率は良好でしたが、定量値には対応関係が認められませんでした。
そのため、試薬変更前後の測定値を直接比較することはできませんので、ご留意ください。

判定		現行（CLIA法）		合計
		陽性	陰性	
新法（CLEIA法）	陽性	22	1	23
	陰性	0	32	32
合計		22	33	55

一致率　98.2%　（社内検討データ）

CLIA法陰性、CLEIA法陽性となった検体のカットオフ値は、CLIA法：47.5 INH（%）、CLEIA法：63.6 INH（%）でした。
＊【判定基準】　CLIA法：50.0未満　陰性　　CLEIA法：60.0未満　陰性

● HBc抗体

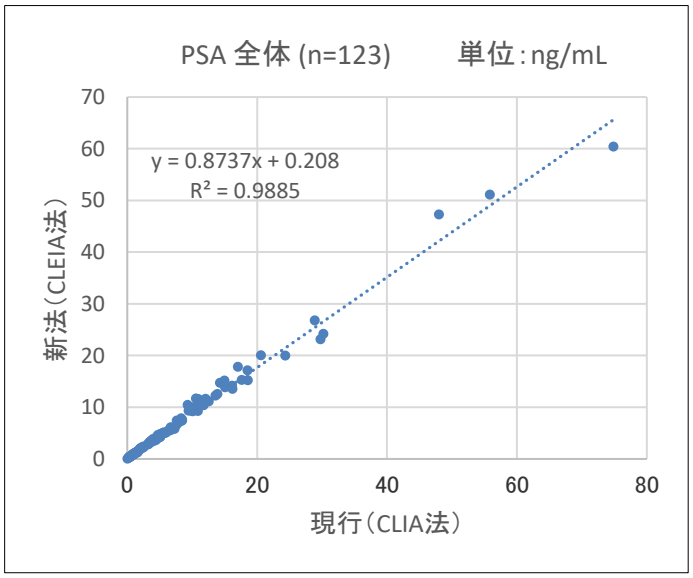
＊新旧試薬間の陽性・陰性判定一致率は良好でしたが、定量値には対応関係が認められませんでした。
そのため、試薬変更前後の測定値を直接比較することはできませんので、ご留意ください。

＊現行試薬では Total HBcAb を測定しておりますが、新法では IgG HBcAb を測定いたします。
測定対象が異なるため、試薬変更前後の結果を比較する際にはご注意ください。

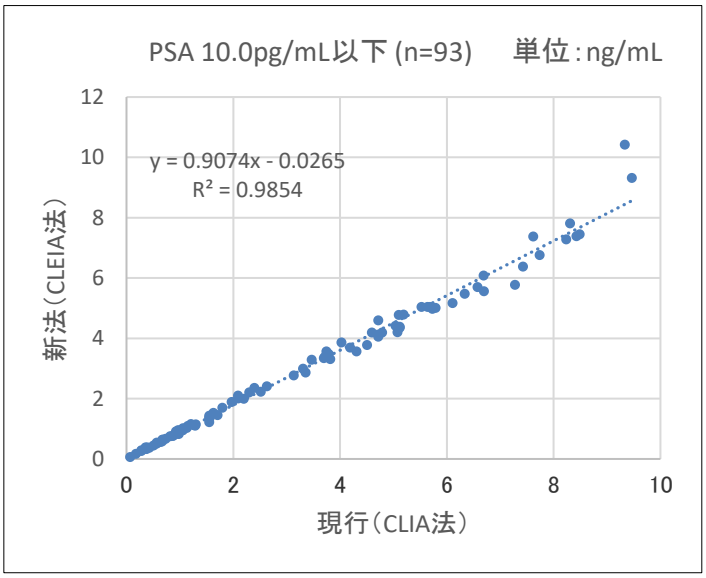
判定		現行（CLIA法）		合計
		陽性	陰性	
新法（CLEIA法）	陽性	118	1	119
	陰性	2	104	106
合計		120	105	225

一致率　99%　（メーカー資料引用）

● 前立腺特異抗原（PSA）



（社内検討データ）



（社内検討データ）